

## サナギを助けよう

社会福祉法人晴朗会 すくすく保育園（大阪府大阪市）

[4歳児]

### 玄関の戸でサナギになってる！「落ちないかな！」

5月27日、玄関の戸の外側にサナギが2本の糸を出している姿を子どもや保護者が発見する。さっそくこのことを表示して、毎日、落ちないように見守っていた。ところが、6月2日、大雨の日、サナギが下に落ちているのを見付けみんなで心配する。



「落ちたサナギを助けよう」といろいろの提案がある。

3歳児のA児のお母さんは「理科の先生に聞いてきたのですが、45度の角度でないだとだめだそうです。大丈夫でしょうか」と心配される。なんとか羽化して欲しいと願い、B保育士が挑戦する。

### 落ちたサナギをなんとか助けよう！

- 1 どうしたら付くかな    2 セロテープだったら付くかも    3 お腹に付けて    4 角度も大丈夫! うまく付く



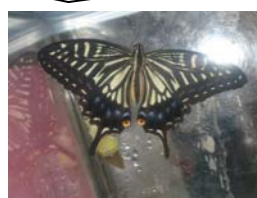
本当に羽化するのか心配だったけれど、6月8日の朝、今年生まれた第1番目のアゲハチョウに続いて、セロハンテープサナギが2番目にアゲハチョウになった。みんなで大歓声。それからは、糸が切れて落ちてしまったサナギはセロハンテープで付けて、大事に育てることにした。

### アゲハチョウの模様は同じ?

今年は、次々とアゲハチョウが生まれた。生まれるたびに写真に撮り、掲示した。すると、子どもや保育者たちが、「なんだか違ってる!」「お尻の丸い模様がオレンジのと白いままのがある。」「8日に生まれたアゲハチョウは水色の線が半分しかない!」「どうして?」「模様は違うの?」と不思議に思い話題になる。子どもたちが調べて、このアゲハチョウは「ナミアゲハ」ということがわかった。図鑑で見ると、「春型」「夏型」「オス」「メス」でも違いがあるということがわかったが、それ以上はどうしてもわからない。

#### アゲハチョウのなぜなぜ?

- ・模様は同じと思っていたけど、ちょっと違うところがある! →やっぱり違う!
- ・お尻の丸い模様が違う(白とオレンジ色がある) →分からない?
- ・水色の模様が違う(水色の模様が半分だけと全部に入っているものがある) →分からない?
- ・大きさが違う → どうして?



本やインターネットでも知ることができないことを、手紙に書いて大阪市立自然史博物館の昆虫研究室に尋ねる。

### みどころ

玄関でサナギになっていることに、子どもたちはもちろん、保護者も心を動かしていることが伝わってきます。幼虫の時とは違い、サナギになって動かなくなっても興味は変わらず、子どもたちは熱心にかかわったり見守ったりしています。更に誕生した蝶の写真が環境の中にあることにより、模様の違いにも興味が深まり、「科学する心」が育まれる意欲的な行動に結び付きました。